

きらきら星の主題による変奏曲～ピアノと吹奏楽の為の

Variations on the 'Twinkle twinkle little star' for Piano and Wind Ensemble

鎌田拓也 作曲

グレード：3.5(Piano は中上級)

編成：小編成(25名ほど)+ピアノ

演奏時間：4分30秒 調性：Cdur→Fdur→Bdur→Esdur

曲について

「きらきら星」の変奏曲は様々な形態で多くの人によって作られています。自分の技量でどこまでの作品が作れるかチャレンジ精神で書き上げました。

キラキラ星のモチーフが使用される代表的な先行作品 (作編曲者敬称略)

「キラキラ星変奏曲」天野正道(ブレーン)

「スター・ファンタジー」後藤洋(B J 付録)

「スター・パズル・マーチ」小長谷宗一(全吹連課題曲)

「キラキラ星よ、どこへ行く？」 渡部哲哉(ウインズスコア)

少なくともこれらの作品と作風を被らせては新たな価値が見いだせないのでは何か今までにないものと考えました。そこで思いついたのはピアノと吹奏楽のコラボレーションです。モーツァルトの「フランスの歌曲“ああ、お母さん、あなたに申しませう”による12の変奏曲」(一般的に『キラキラ星変奏曲』)のイメージを吹奏楽の組み込むことで今回の変奏曲のスタイルを確立させようと思い立ちました。

冒頭の主題はピアノソロから始まります。「ドドソソララソ～」とシンプルなC調を採用しました。調はその後、ひたすら下屬調へ移行し吹奏楽器が活躍していきます。マーチ、ワルツ、序曲風などに曲は変奏していき、ショーミュージックのように最後は華やかに終わります。

ピアノパートの難易度はやや高めです。私自身、下手くそなのでこの楽譜は弾けないです…。ただしオプションパートがありませんので難しいからと言って割愛してしまうと曲が成り立ちません。スクールバンドなどでは先生と一緒に演奏するのもいいかもしれません。こうしたピアノの吹奏楽のコラボレーション作品は数が少ないですからプログラムに取り入れれば注目されること間違いなしです。

演奏にあたって

ピアノとバンドの音量バランスに最も注意を払わなければなりません。演奏時の注意ももちろんですが配置等も十分に考える必要があるでしょう。第1変奏はおもちゃ箱のイメージなので可愛らしさを大切に、第2変奏はコンサートマーチですから打楽器と金管楽器が堂々と演奏するといいでしょう。第3変奏はワルツです。きっちり拍にはめるよりはアゴーギグをつけて揺らすなど雰囲気づくりを大切に。第4変奏は3連符をベースにした協奏曲スタイル。ピアノの超絶技巧が見せ場です。第5変奏は序曲スタイルです。(J.スウェアリンジェンやJ.バーンズの作風を真似したつもりですが…) 伴奏パートが軽めにリズムを刻むと旋律が演奏しやすくなると思います。

(2012年3月 鎌田拓也)

きらきら星の主題による変奏曲

～ピアノと吹奏楽の為の

鎌田拓也 作曲

Variations on the 'Twinkle twinkle little star' for Piano and Wind Ensemble

Allegretto $\text{♩} = 116$

The musical score is arranged for a piano and a wind ensemble. The piano part is at the bottom, and the wind instruments are listed on the left side of the score. The instruments include Piccolo, Flute 1st and 2nd, Oboe, Bassoon, B♭ Clarinet 1st and 2nd, Bass Clarinet, Alto Saxophone 1st and 2nd, Tenor Saxophone, Baritone Saxophone, Trumpet 1st and 2nd, Horn 1st and 2nd, Trombone 1st and 2nd, Euphonium, Tuba, Stringbass, Timpani, Percussions, and Glockenspiel. The score is in 4/4 time and begins with a tempo marking of Allegretto and a metronome marking of 116. The piano part starts with a dynamic marking of *mf*. The woodwind and brass parts enter at measure 5 with a dynamic marking of *mp*. The Glockenspiel part enters at measure 15. The score consists of 15 measures.